

委員会の経過について

・淀川水系河川整備計画の策定に向けての

これまでの経過

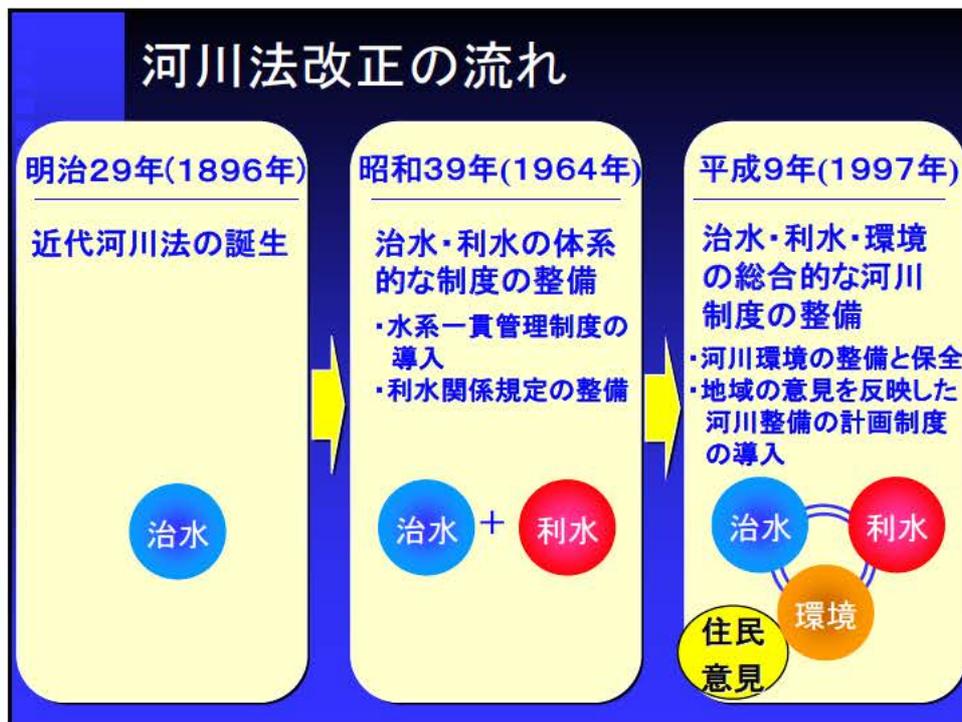
・流域の概要

平成17年2月5日

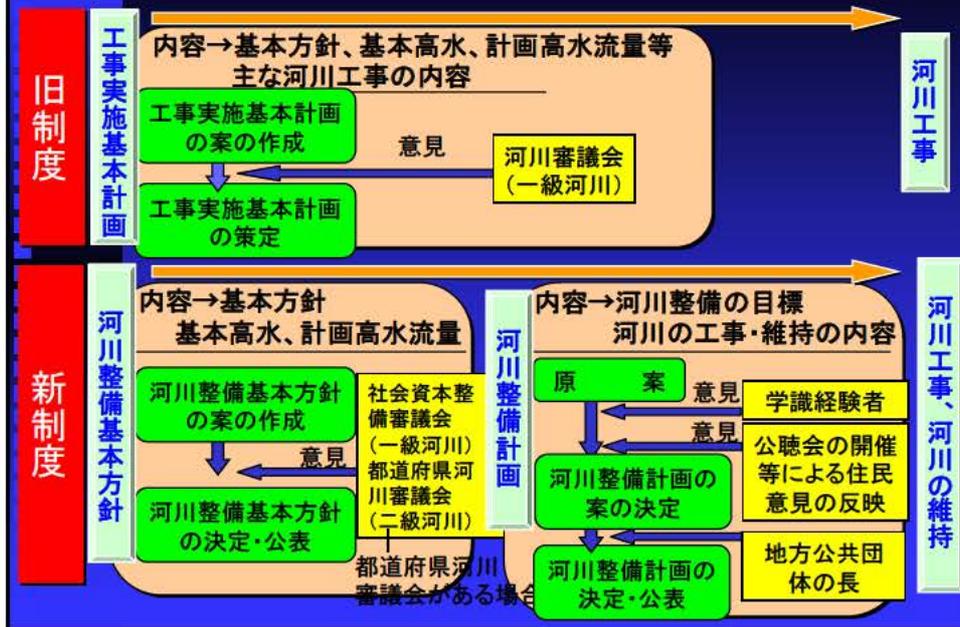
近畿地方整備局

淀川水系河川整備計画の策定に向けてのこれまでの経過について

河川法改正の流れ

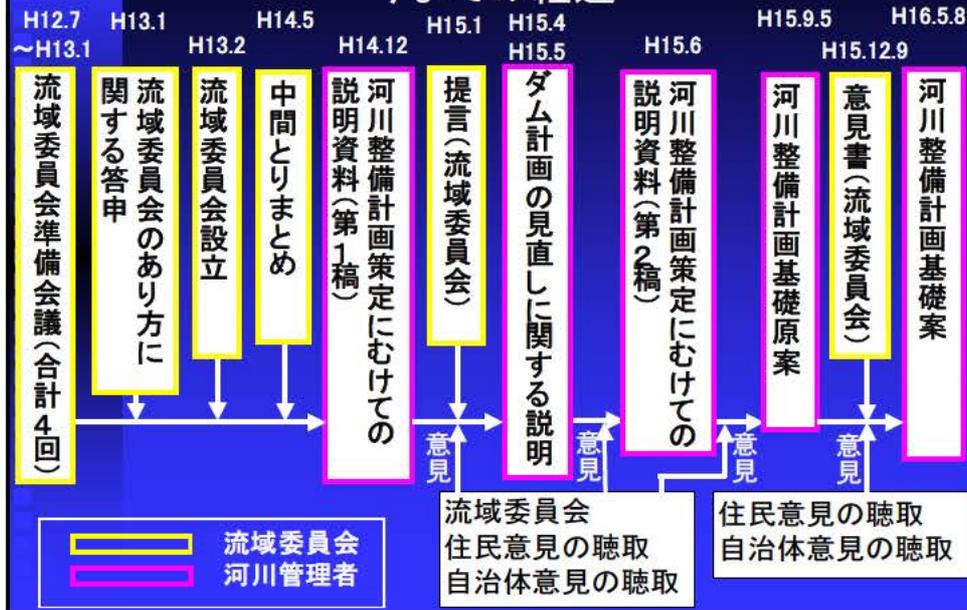


新しい河川整備の計画制度

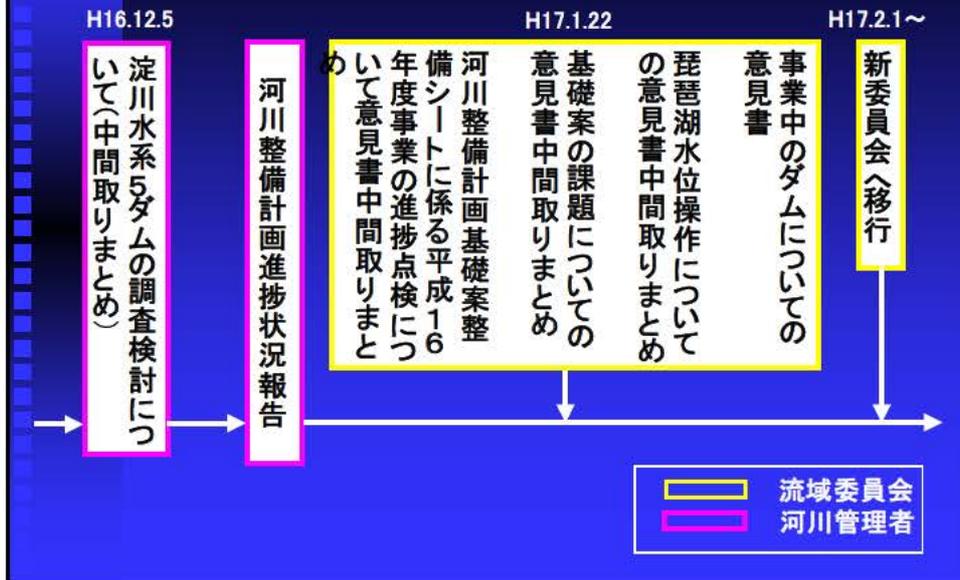


淀川水系河川整備計画策定に向けて

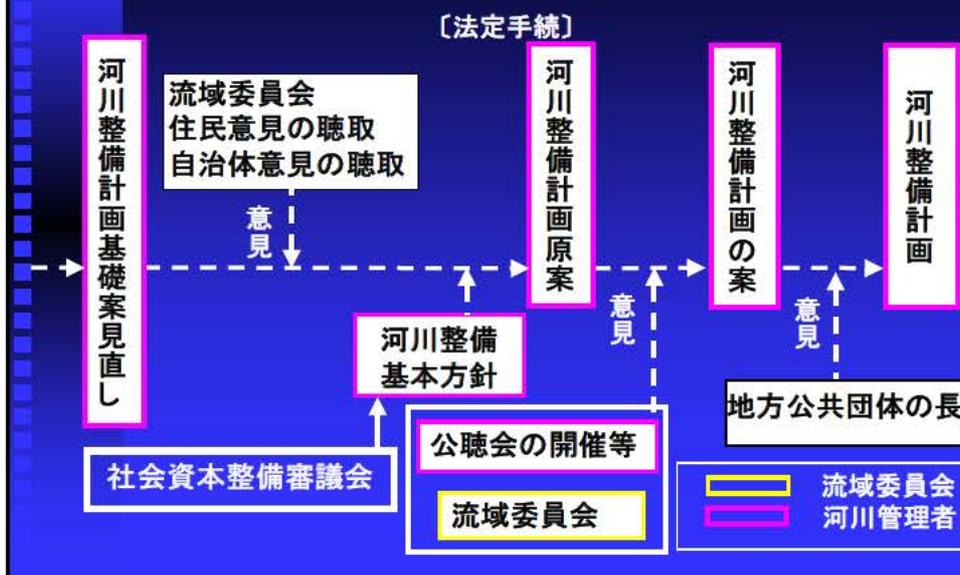
～ 今までの経過 ～



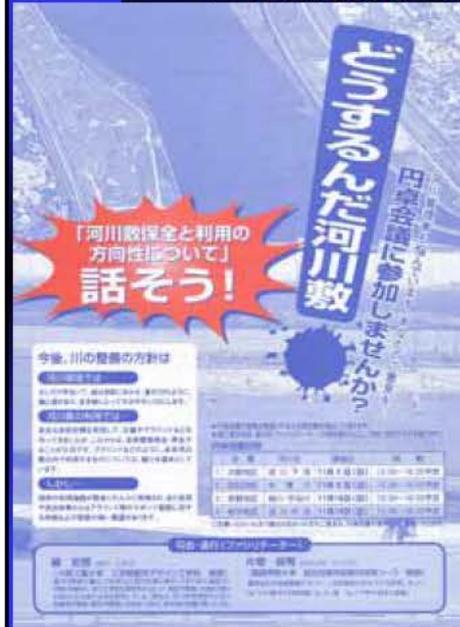
淀川水系河川整備計画策定に向け



淀川水系河川整備計画策定に向けて ～ 今後の進め方 ～



住民意見の反映に向けて



流域委員会提言

・(住民に説明する会の他に) 河川法16条の2に定める「公聴会」を開催すべきである。

・公聴会は円卓方式の「対話集会」もしくは「対話討論会」とし、河川管理者と地域組織などが公開で討論を行い、議事録などはすべて公開されるべきである。

・対話集会や対話討論会の進行・促進の役割を担う人物(ファシリテーター)を置いて行うことが望ましい。

住民意見の反映に向けて



住民意見の反映に向けて



住民説明会

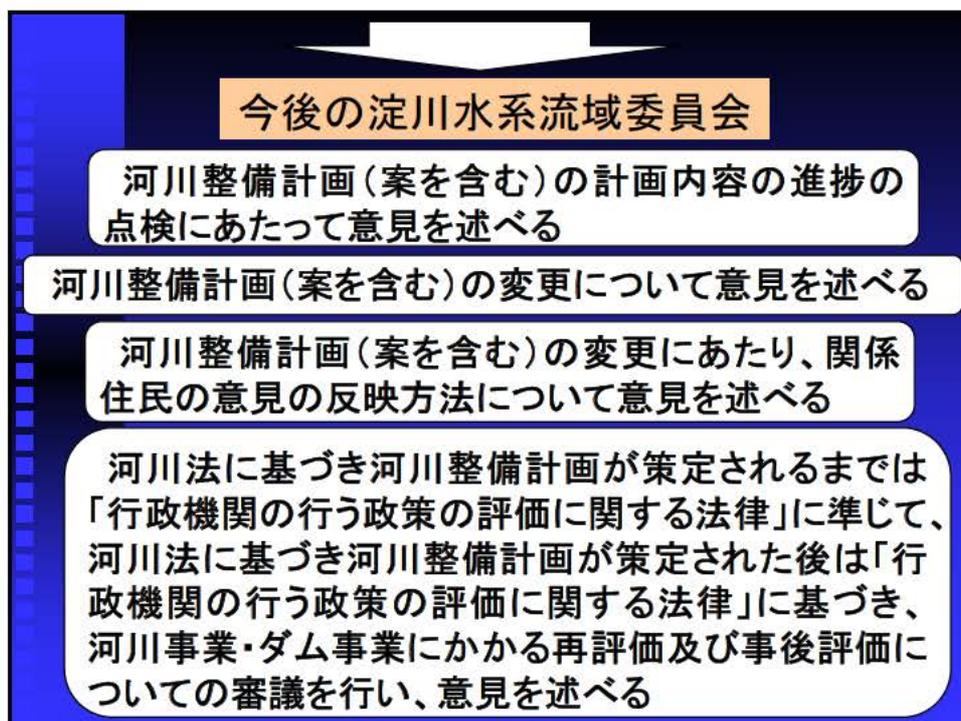
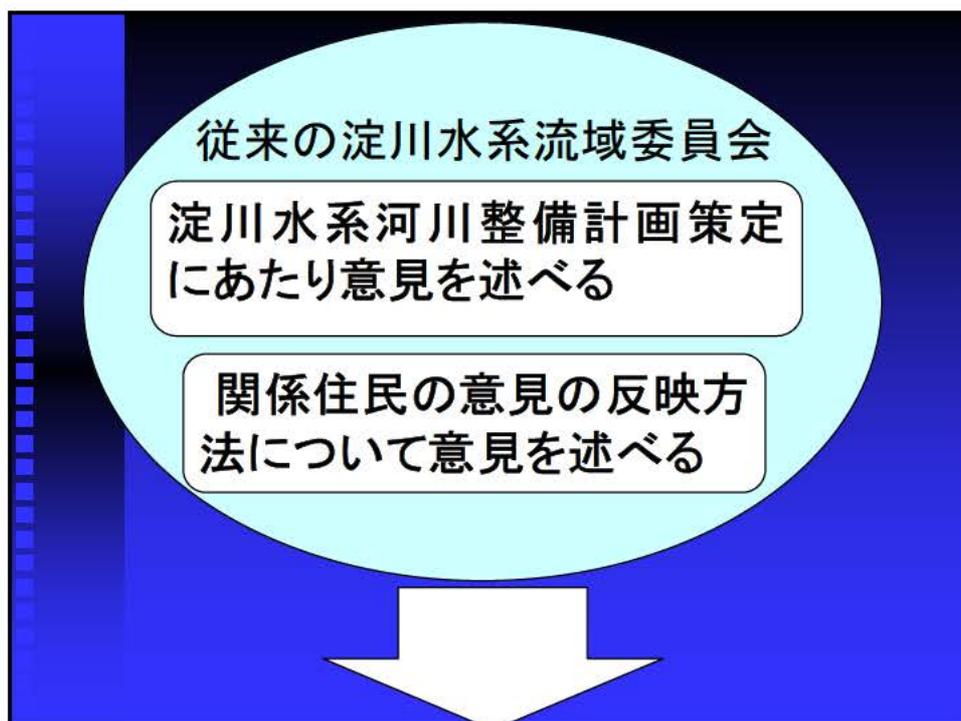
平成17年1月末現在

	住民	自治体	団体	総合計
開催数 (回)	48	236	51	335
意見数 (件)	2,082	296	24	2,402

住民対話討論会

平成17年1月末現在

開催回数	参加者数	発表者
35回	2,891人	465人



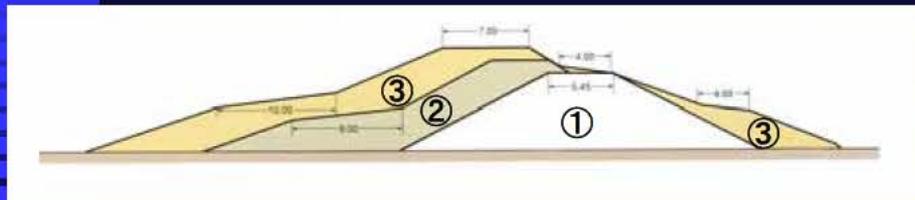
淀川流域の概要



淀川流域の特徴

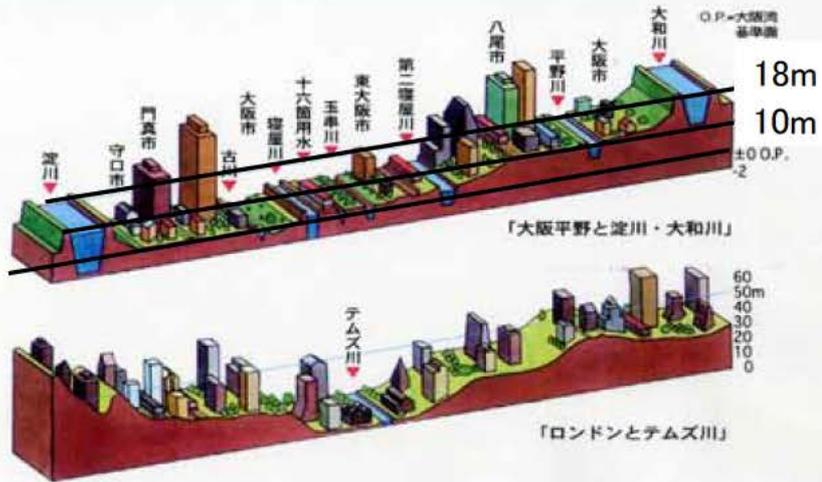
1. 高い堤防に守られた低平地への人口・資産の集中
2. 狭窄部の存在
(保津峡、鹿跳溪谷、岩倉峡、銀橋狭窄部)
3. 琵琶湖の存在

堤防築堤の変遷



- ① 淀川改良工事(明治29年～43年)
- ② 淀川改修増補工事(大正7年～昭和7年)
- ③ 淀川修補工事(昭和14年～)
淀川改修(現在堤)計画

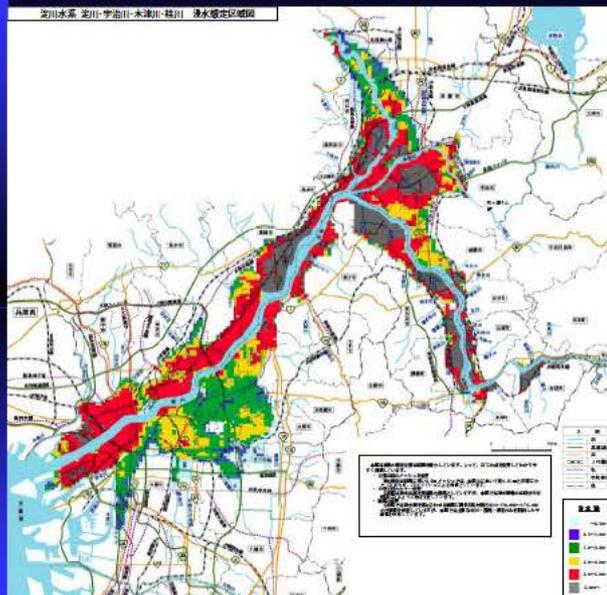
大阪市街地とロンドン市街地の比較



大阪市市街から淀川を望む(8. 0k)

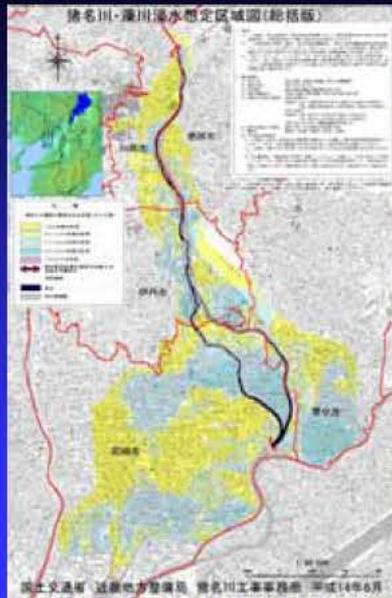


浸水想定区域 (淀川、宇治川、木津川、桂川)



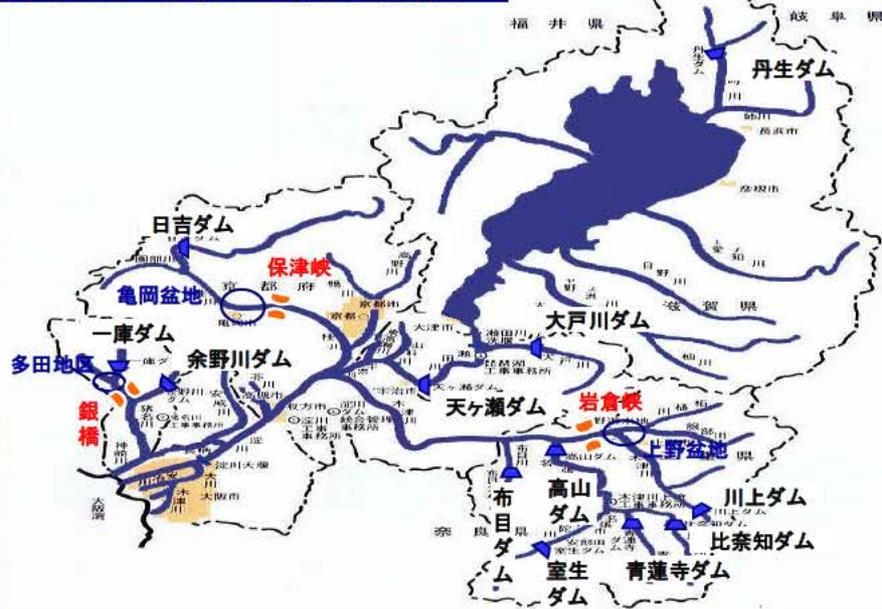
浸水想定区域内人口 約182万人

浸水想定区域(猪名川)



浸水想定区域内人口 約48万人

狭窄部上流部の浸水被害



桂川の状況 保津峡



嵐山から保津峡を望む

狭窄部上流部の浸水被害

【亀岡地区】

■主な出水被害（昭和26年以降）

発生年月日	原因	最高水位	浸水面積	浸水戸数
昭35. 8.30	台風16号	8.25m	700ha	1,400戸
昭28. 9.25	台風13号	9.18	690	1,350
昭34. 8.14	台風7号	7.11	440	300
昭36. 10.28	豪雨	6.93	420	250
昭40. 9.18	台風24号	8.84	410	200
昭47. 9.17	台風20号	6.80	400	180
昭34. 9.27	台風15号(伊勢湾台風)	6.40	360	70
昭58. 9.28	台風10号	6.28	229	84
昭57. 8. 2	台風10号	6.12	213	23
平元. 9. 3	豪雨	6.07	200	8
平7. 5.13	豪雨	5.54	41	0

※昭和分は人家浸水のみで、最高水位別に補修水位は、保津橋水位観測所（標高 TP+83.247m）における観測値
電田駅踏切 TP+89.6m（保津橋水位+6.353mに相当）



出典：桂川（保津工区）河川改修事業
（京都府）

写真左：昭和35年8月洪水

写真右：昭和57年8月洪水

木津川上流の概要



岩倉峡



狭窄部上流部の浸水被害

【上野地区】

既往の災害一覧

上野地区

順位	年月日	湛水量 (t)	湛水区域 (ha)	浸水戸数 (戸)	被害額 (百万円)	2日連続 雨量(mm)	備考
1	S28. 9.25	16,100,000	540	200	2851	301	台風13号
2	S34. 9.26	15,500,000	535	195	398	340	伊勢湾台風
3	S36.10.28	12,700,000	510	140	267	312	前線豪雨
4	S57. 8. 1	10,700,000	505	36	549	233	台風10号
5	S40. 9.17	10,700,000	505	35	388	231	台風24号

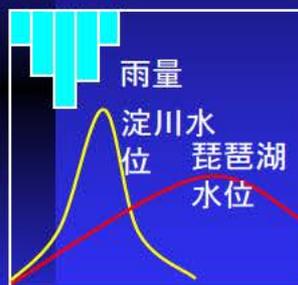




狭窄部付近氾濫状況(昭和35年水位痕跡)

琵琶湖の概要

- 琵琶湖の役割
- 琵琶湖の治水
- ◆ 洪水の特徴



瀬田川洗堰



生物の生息状況の変化

琵琶湖固有種

◆ 琵琶湖の固有種

豊かな自然環境としての価値

豊かな水量と広々とした空間をもち様々な生物を育む琵琶湖が、古い歴史を持って自然界に存在することが大きな価値であり、県民の心のよりどころとなっています。



ピワクンショウモ

写真提供: 衛星環境センター



ネジレモ

写真提供: 琵琶湖研究所



シライシカワニナ

写真提供: 琵琶湖研究所

5種

ピワクンショウモ

の交雑

の交雑

ピワツボカブリ

ピワミジンコ

ネジレモ

サンネンモ

2種

シライシカワニナ

ハバカワニナ

モリカワニナ

ピワユズシタダミ

オオミガイ

カドヒラマキガイ

ヒロクヒラマキガイ

ササノハガイ

タナボシガイ

38種

クロカワニナ

タナジツカワニナ

タナシカワニナ

ナナボシカワニナ

(ナカセウカワニナ)

ピワオオウズムシ

ナガサニシ

イボカワニナ

タナヒダカワニナ

カドメカワニナ

ヤマトカワニナ

ハバカワニナ

モリカワニナ

ピワユズシタダミ

オオミガイ

カドヒラマキガイ

ヒロクヒラマキガイ

ササノハガイ

タナボシガイ

フトマキカワニナ

オオウカワニナ

シライシカワニナ

ホノマキカワニナ

ピワコシカワニナ

オトコササボシガイ

イクチヨウガイ

メノカスガイ

マルドブガイ

オダマシガイ

クマラムミシジメ

*イカリビル

ピワカマカ

アナゲールヨコエビ

ナリクシヨコエビ

ピワユグリビゲウ

*カムラナベフナムシ

ピワヨボレイトヒズ

12種

ピワマス

アブラヒガイ

ピワヒガイ

ホノモロコ

スゴモロコ

ワカカ

ゲンゴロウナ

ニゴロブナ

ピワコオオナマ

ス

イトコナマス

イサザ

ウツセミカジカ

琵琶湖に生息する固有種

38種

- クロカワニナ
- タナジツカワニナ
- タナシカワニナ
- ナナボシカワニナ
- (ナカセウカワニナ)
- ピワオオウズムシ
- ナガサニシ
- イボカワニナ
- タナヒダカワニナ
- カドメカワニナ
- ヤマトカワニナ
- ハバカワニナ
- モリカワニナ
- ピワユズシタダミ
- オオミガイ
- カドヒラマキガイ
- ヒロクヒラマキガイ
- ササノハガイ
- タナボシガイ
- フトマキカワニナ
- オオウカワニナ
- シライシカワニナ
- ホノマキカワニナ
- ピワコシカワニナ
- オトコササボシガイ
- イクチヨウガイ
- メノカスガイ
- マルドブガイ
- オダマシガイ
- クマラムミシジメ
- *イカリビル
- ピワカマカ
- アナゲールヨコエビ
- ナリクシヨコエビ
- ピワユグリビゲウ
- *カムラナベフナムシ
- ピワヨボレイトヒズ

12種

- ピワマス
- アブラヒガイ
- ピワヒガイ
- ホノモロコ
- スゴモロコ
- ワカカ
- ゲンゴロウナ
- ニゴロブナ
- ピワコオオナマス
- イトコナマス
- イサザ
- ウツセミカジカ

*: 既に絶滅したと考えられる固有種

() : 宇治川で確認された種

出典: [Nishino and Watanabe(2000) Evolution and endemism in Lake Biwa, with special reference to its gastropod mollusc fauna.] (滋賀県琵琶湖研究所 西野麻知子総括研究員)より



ニゴロブナ

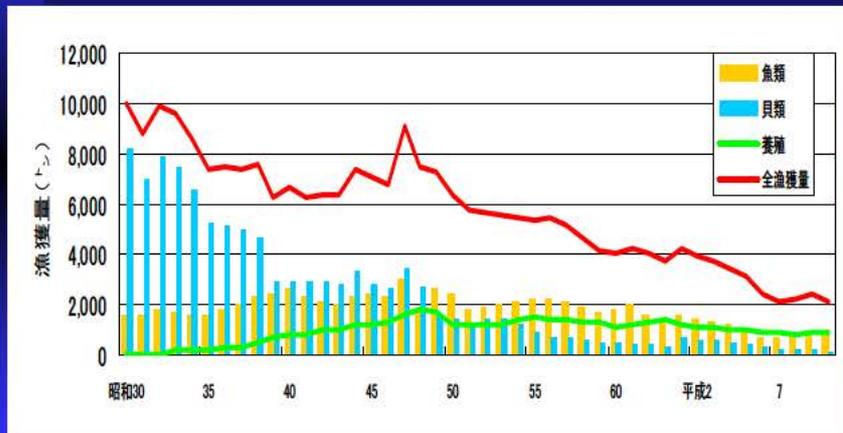
写真提供: 水産課

出典: 滋賀の環境—淡水の環境のてびき—
滋賀県パンフレットより

生物の生息状況の変化

魚類の変化

◆ 琵琶湖の漁獲量の経年変化



出典: 国土交通省琵琶湖工事事務所

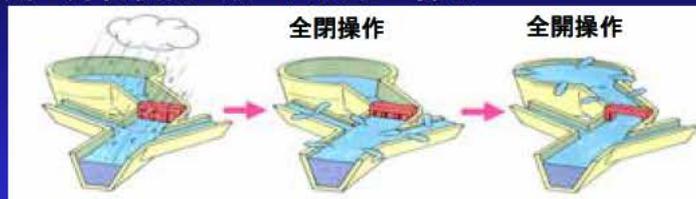
瀬田川洗堰



琵琶湖の概要

- 琵琶湖の水位管理
- 瀬田川洗堰の操作

・琵琶湖の貯留機能と瀬田川洗堰の操作



・淀川と琵琶湖の洪水の特性

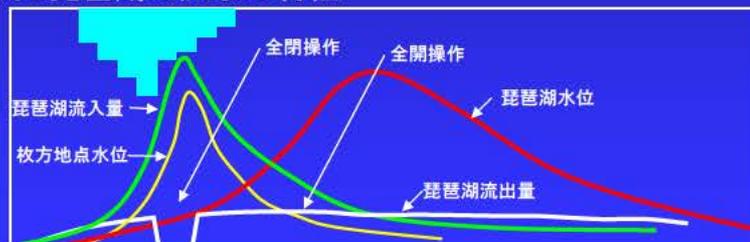




写真2.8 平成7年：浸水した家屋と道路(安土町)

